



太田川河川事務所

ゴギ GōGi通信

No. 135

太田川床上浸水対策完成式を開催



バンド演奏（安佐人バンド）



太鼓演奏（日浦祭太鼓）

平成29年2月25日、広島市安佐公民館（広島市安佐北区安佐町飯室）にて、太田川床上浸水対策の完成式を開催しました。

式に先立ち、床上浸水対策の完成を祝って、地元の安佐人バンドや日浦祭太鼓の演奏が行われました。

式では、主催者の松井広島市長、小坂安芸太田町長及び丸山中国地方整備局長の挨拶に続き、来賓の河井衆議員、溝手参議院議員及び広島県知事（高垣副知事代読）から祝辞をいただき、河村太田川河川事務所長による工事報告、永田広島市議会議長の発声による万歳三唱の後、祝賀行事では、広島市立飯室小学校6年、奥田幸治さんと福原向日葵さんも参加したテープカットとくす玉開披を行い、完成を祝いました。

床上浸水対策について

平成17年9月の台風第14号により、太田川流域の平均総雨量は300ミリを超え、6つの雨量観測所において過去最大の日雨量を記録しました。また、河川の流量は、矢口第一観測所（広島市安佐北区）において、戦後最大流量となる毎秒7200立方メートルを記録しました。

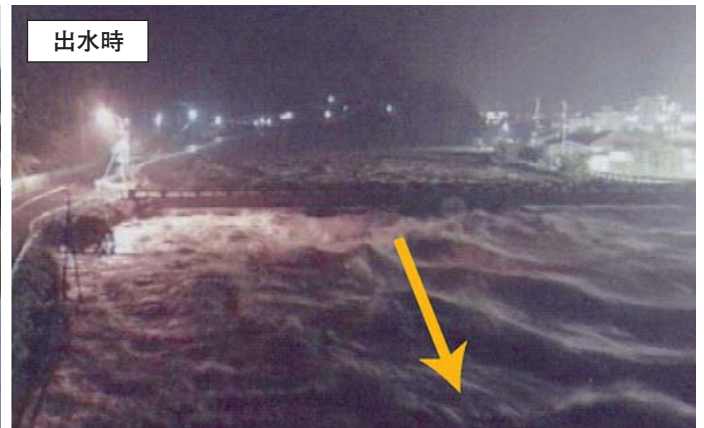
この洪水により、広島市安佐南区と安佐北区、佐伯区、安芸太田町において、116棟の家屋に床上浸水被害が発生したことから、同じ規模の洪水が再び発生したとしても、同様の床上浸水被害が発生することがないように、平成19年度から床上浸水対策の整備に着手し、平成28年度に完成しました。

整備の内容として、床上浸水被害が発生した18地区において、住宅地域に河川の水が侵入することを防ぐための堤防整備（約9890メートル）のほか、河川の流量を増やすための河道掘削（約24万立方メートル）などを行いました。

この整備を行うに当たり、地権者の皆さまをはじめ、地域の皆さま、関係機関、工事受注者の方々など、関係する多くの皆さまにご協力頂きましたことに、心より感謝申し上げます。



平常時



出水時

旧堂見橋（下殿河内地区：61k700付近）



洪水痕跡（今井田地区筒瀬橋：22k900付近）



洪水痕跡（今井田地区：23k200付近）

▶ 整備事例：筒瀬地区



整備前（平成17年撮影）



整備後（平成22年撮影）



広島豪雨土砂災害対策の 進捗状況について

太田川河川事務所では、平成26年8月20日に発生した広島豪雨土砂災害により、特に著しい被害が生じた24溪流において、災害時に崩れて溪流に残っている不安定な土砂に対し安全性を確保する緊急事業として、25基の砂防えん堤工事を進めてきました。

このうち、24基の緊急事業は完了し、残る1基（安佐南区緑井八丁目・植林川支川）については、昨年10月から工事に着手し、本年の梅雨時期までの緊急事業の完了を目指して、現在工事を進めているところです。なお、緊急事業が完了した溪流は引き続き、安全度を高める砂防事業を実施しており、このう

ち3基については完成し災害対応が完了するとともに、残る21基については、平成31年度末の完成を目指し工事を進めてまいります。

広島西部山系砂防事業の 2地区で砂防えん堤が完成

平成13年度から、広島市、廿日市市、大竹市の三市にまたがる地域において広島西部山系直轄砂防事業を推進しています。現在、10地区で工事を行っています。

3月末で広島市安佐南区高取地区と西区井口台地区で砂防えん堤が完成します。

今後も土砂災害を防止するための事業を推進してまいります。

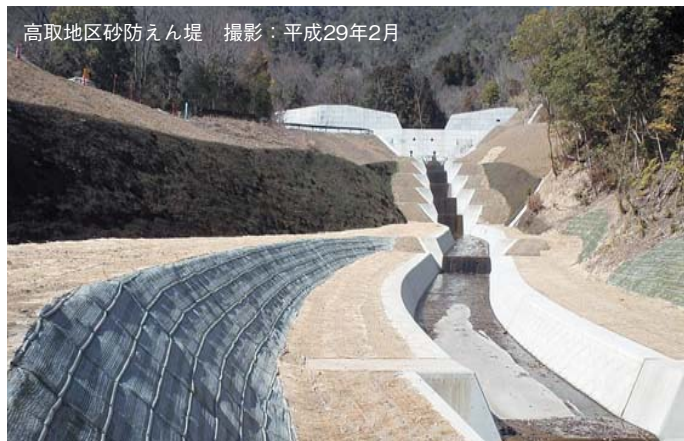
災害直後の状況 撮影：平成26年8月（国土地理院）



上楽地1号砂防えん堤 撮影：平成29年2月



高取地区砂防えん堤 撮影：平成29年2月



井口台地区砂防えん堤 撮影：平成29年1月



矢口排水機場の工事について

矢口川総合内水緊急事業は、平成29年度の完成を目指し工事を進めています。

現在は、矢口川の洪水を太田川に排水するための樋門工事や排水機場の上屋建築工事などを行っています。樋門工事を行うためには、太田川の堤防（県道八木広島線）を一部開削し施工が必要であることなどから、昨年10月から本年6月末までの予定で、終日全面通行止めとさせていただきます。



地域のみなさまには、ご不便をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。

また、堤防を開削する工事は非常に希であり、堤防全体の土質などを調査する絶好の機会であることから、土質の専門家などによる調査を昨年12月27日に実施しました。

専門家からは「この堤防は昭和43年頃に造られたもの。変状は殆ど発生していない健全な堤防である。」などの意見をいただきました。



堤防調査の状況

河川協力団体との意見交換会を行いました

平成29年2月22日に河川協力団体との意見交換会を行いました。

平成28年度の活動として、河川敷の清掃や草刈りを実施、川に親しむイベントの開催など、各団体の活動内容の報告がありました。

意見交換では、活動における自治体との連携、学校との河川環境学習など、活動を行う上での悩みや工夫している点について情報共有を図りました。



活動報告のようす



現場視察のようす

<太田川河川事務所管内指定団体>

	指定年度
・エコロジー研究会ひろしま	H25
・NPO法人上殿未来会議	H25
・NPO法人佐東地区まちづくり協議会	H26
・大之木建設株式会社	H27

※河川協力団体とは、自発的に河川の維持・環境の保全等に関する活動を行うNPO等民間団体。

市民参画の樹木伐採により繁茂した樹木群を除去できました

河川を維持管理する予算の縮減と木材資源の有効活用を図るため、広島市安佐南区川内地先・安佐北区可部地先の2箇所でも木材の活用を目的に自ら伐採していただく方を募集しました。

その募集に対して多くの応募者があり、応募者自らが伐採することによって、繁茂していた樹木群を除去することができました。応募者の方からは、持ち帰った木を薪やキノコの原木などに使用すると聞いています。今後も公募伐採へのご協力をいただきながら、河川環境の保全を図っていきます。

応募期間：
1月27日～2月10日
伐採期間：
2月24日～3月13日



伐採のようす



伐採前



伐採後

